

2010年度

科目名	工芸制作				
担当教員	竹本 封由之進				
配当	教福3			コード	80751
開期	集中後期	講時	集中0限	単位数	2
授業テーマ	生活に生かす工芸制作				
目的と概要	<p>現代人の課題と考えられていることの一つに「余暇の充実」がある。ここでは、工芸制作を自己満足的な趣味の充実としてではなく、「自己表現」「自己追究」の場として、内在する自分自身の表出として捕らえ、立体表現活動を中心に進める。</p> <p>特に、「立体表現」の中でも、粘土を中心に扱い、自然との語らいの中で身近に使えるようなものを制作していく。技術的には最低限の基礎的・基本的な事柄を体得し、各自の創意・工夫を生かせるように考えている。制作活動を通して、自分自身とも語らい、生涯学習の基礎になればと期待する。</p>				
成績評価法	・出席状況・制作活動の様子・提出作品・自己評価などによって総合的に評価する。				
テキスト	必要に応じてテキスト・資料を紹介する。				
参考書	適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	<p>本科目を選択するにあたっては、4月上旬昼休み予定のオリエンテーションに参加のこと。日程調整を行いながら進める予定です。(休みの日に集中的に制作する予定です。)</p> <p>*工芸教室(1-117 教科書販売の場所)集合</p>				
講義計画					
回	基礎造形概論	実技実習の内容		備考(予定)	
1回	オリエンテーション	メンバー紹介 日程調整、確認		4月上旬昼休み (30分程度)	
2回	土粘土A	制作方法の学習 板作りによる制作		5月上旬 (9:30-16:30)	
3回	土粘土B	手捻りによる制作 紐作りによる制作		5月下旬 (9:30-16:30)	
4回	土粘土A・B	下絵付け 釉がけ		7月上旬 (9:30-16:30)	
5回	七宝	制作方法の学習 制作		9月下旬 (9:30-16:30)	
6回	まとめ	学習のまとめ 鑑賞		12月中旬昼休み (30分程度)	
<p>*毎回、学習記録用紙(別途配布)に考察を記入し、自己評価をしておくこと。</p> <p>*作品は各自のものとなりますので、必要な材料費を別途徴収します。(2000円程度の予定)</p> <p>*受講生のニーズや成長度合に合わせて、内容を変更する場合があります。</p>					